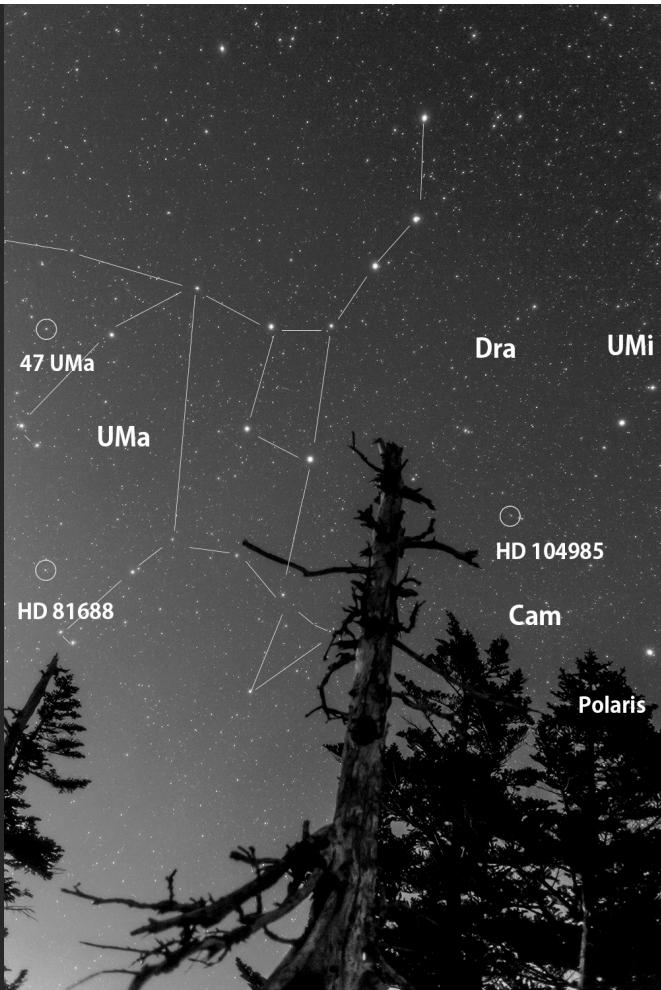


天文教育

2015 5

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



2015 年天文教育普及研究会年会のお知らせ

＜投稿＞ 眼視に近い皆既月食経過動画の作成／「Communicating Astronomy with the Public 2016」に参加しよう／小学生を対象とした天文部活動 〈報告〉最北の町から皆既日食報告 ほか

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
 2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6~10ページ程度。
 3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2~4ページ程度。
 4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
 5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
 6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
 7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。
- ・締め切りは1は原則として奇数月末日、2~7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。
- ・広告掲載を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判 1ページ ¥20,000-、半ページ ¥12,000-、1/4ページ ¥7,000-、チラシの折り込み ¥20,000-です。
- ※本誌に掲載された記事は、当会Webサイト (<http://tenkyo.net/>) にてPDFファイルの形で公開を予定しております。
インターネットでの公開に差し障りのある場合は、ご投稿の際にその旨ご連絡をお願いいたします。
- なお、2014年9月号から、当会会員に対しては会誌発行後に速やかに、パスワード制限※をかけた形で閲覧できるようになります。発行から1年経過後にパスワード制限を解除して、広く一般に公開する予定です。
- ※今号「事務局からのお知らせ」の末尾（61頁）をご参照ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願ひいたします。

- ・原稿の投稿は、原則としてMicrosoft Wordファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・充分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願ひいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

春の系外惑星、おおぐま座47番星、HD 81688 (おおぐま座)、HD 104985(きりん座)

日時：2014年5月6日23時23分、カメラ・レンズ：Canon EOS5DMkIII、Nikon AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED、
(渋峠/長野・群馬県境)

いま、国際天文学連合（IAU）による系外惑星命名キャンペーンが行なわれている。①世界中の一般市民を対象とした天文機関・団体、または天文学に興味のある非営利団体が登録し（6月1日まで締切り延期）、②登録団体が系外惑星の命名候補天体を投票で選び、③選ばれた命名候補天体（20組）から、登録団体が1組の名前を提案し（6月15日まで）、④提案された名前の中から一般投票で選択し（6月中）、⑤今年8月のIAU総会で発

表するという。いま、20組の命名候補天体が発表されている (<http://exoplanet.jp/>)。これらの候補のうち、パルサーPSR 1257+1213とさいだん座μ星を除いた18組の主星は、肉眼や双眼鏡を使えば、日本からも見ることができる。特に、北極星の周囲に多数の天体が選ばれているのは、日本の研究グループの活躍による。この北斗七星と北極星の付近に3つの系外惑星を持つ恒星がある。このうち、HD 81688(おおぐま座)、HD 104985(きりん座)は、いずれれも、国立天文台岡山天体物理観測所 188cm反射望遠鏡と高分散分光器HIDESを用いて発見されたものである。皆さんも、春の星空を眺めながら、系外惑星の名前を考えてみませんか。

撮影と文：大西浩次